

キーワード「養蜂」「生態系回復」「自然保護」「福祉の向上」「地域の活性化」

封筒メーカーの屋上で女性社員が 「都市養蜂」に挑戦！

封筒・紙袋などの紙製品メーカー 株式会社ムトウユニパックは、8月3日（はちみつの日）にちなんでNPO法人 江東区ハニービー・プロジェクト（略称：ハニプロ）と協力協定を締結しました。東京都江東区、隅田川にかかる永代橋のたもとに自社ビルをもつムトウユニパックの屋上で「養蜂」を開始します。女性社員の有志「封筒女子部」が中心となり、ハニプロメンバーの指導のもとミツバチを飼育し、ハチミツの生産・活用を通して、都市の生態系の回復や自然保護、地域の活性化や福祉の向上に寄与することが目的です。

【江東区ハニービープロジェクトとは】

都市の緑化推進や生態系回復、生物多様性を推進するため、江東区の重点事業として「養蜂」を事業化し、2015年から江東区役所の屋上で開始しました。セイヨウミツバチ3群から飼育を開始し、初年度は約140kg、2021年には5群に増やし約330kgのハチミツを収穫しています。それらは瓶詰めから販売までを区内障がい者団体に委託し、また子ども食堂や小学校に寄贈するなど地域に貢献しています。



【ムトウユニパックは区内企業として「都市養蜂」の事業に参画 環境保全の取り組み担当にミツバチを社員として採用】

紙を扱うメーカーとして、環境問題には常に興味を持っており、SDGsの達成に向けてさらなる取り組みを模索していたところ、封筒女子部に江東区ハニービープロジェクトとのご縁がありました。ミツバチは「ポリネーター（花粉媒介者）」として多くの農作物や草花の受粉等、自然を豊かにする大きな役割を

担っていることから、都内で養蜂をすることの意味を知りました。ムトウユニパックの自社ビル屋上から、セイヨウミツバチが飛ぶとされている約3km四方には、皇居・浜離宮・木場公園・隅田川テラスといった豊富な自然環境があります。それらの蜜源をミツバチ社員たちが元気に飛びまわり、自然を豊かにしてくれるとともに、ハチミツという自然からの贈り物をもたらしてくれる活動のお手伝いをします。



【本件に関するお問い合わせ先】



封筒女子部
FUTOH JOShibu

株式会社ムトウユニパック 広報担当：古川 祐子

TEL 03-3642-1149 メール kikaku@mutoh-u.co.jp



NPO 法人江東区ハニービー・プロジェクト：速水 俊成

TEL 070-4339-4536 メール honeypro328@docomo.ne.jp